

令和 8 年度福祉人材確保及び介護現場の生産性向上にかかる施策の方向性（案）

これまでの各ワーキングや総合計画審議会をはじめとする県関係の会議体等でいただいた意見を踏まえ、県において、以下とおり施策の検討を進めてはどうか。

1. 基本的考え方

市町村への補助による介護の魅力発信や、草の根で地域住民への介護の仕事に関する理解の醸成を図り福祉・介護人材の裾野を広げていく「地域からの介護人材参入促進事業」などの取り組みを着実に継続し、成果を積み上げて、多様な人材の参入を促していくことが必要。

そのうえで、人材に応じたキャリアの構築の支援など、あらゆる人材が能力を発揮し、エンゲージメント向上に資する施策に重点的に取り組む。

2. 施策例

○若者や高齢者など、多様な人材の参入に向けた支援の充実（スポットワークなど）

○外国人材の確保・育成・定着に向けた支援等の充実（日本語教育の充実）

○介護サービスの質の維持・向上を実現するための介護ロボットや ICT 等のテクノロジー導入への支援の充実 など